

令和6年度 放課後等デイサービス（個別）自己評価表

事業所名		放課後等デイサービス事業所四日市市立あけぼの学園（個別支援）		公表日	令和 7年 2月 13日		
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点		
環境・体制整備	1 利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	<input type="radio"/>					
	2 利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	<input type="radio"/>			利用定員に対する職員数は確保できていますが、欠員分の職種の職員の確保に努めているところです。		
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	<input type="radio"/>			・各訓練室ごとに分かりやすく、取り組みやすいようにしています。		
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか。	<input type="radio"/>			・子どもの姿に応じて使用する部屋の環境を整え、使用後は清掃しています。		
	5 必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	<input type="radio"/>					
業務改善	6 業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	<input type="radio"/>			・改善が必要と思われる事柄については、会議の際に振り返りとともに、今後の対応を検討しています。		
	7 保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	<input type="radio"/>			・改善に努めています。		
	8 職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	<input type="radio"/>					
	9 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	<input type="radio"/>			・毎年、第三者評価委員会を開催しています。		
	10 職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	<input type="radio"/>			・あけぼの学園としての研修会の開催があり、参加しています。また、各職種ごとの専門的な研修会へも参加しています。		
	11 個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	<input type="radio"/>					
	12 放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	<input type="radio"/>					
	13 放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	<input type="radio"/>					
	14 こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	<input type="radio"/>			・標準化された検査などを用いて、発達段階等の把握をしています。また、各職種ごとアセスメントし、支援に活かすようにしています。		
	15 放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	<input type="radio"/>					
	16 活動プログラムの立案をチームで行っているか。	<input type="radio"/>			・個別支援のため、担当職員が個々で立案していますが、職種ごとにあるいは多職種で検討する機会を持つようになっています。		

	17	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	<input type="radio"/>	・お子さんの成長発達や興味関心に応じて、プログラムを工夫しています。	
	18	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	<input type="radio"/>	・支援実施ごとに、記録をとることを徹底し、それとともに支援を検証し以降の支援に活かせるようにしています。	
	19	定期的モニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	<input type="radio"/>	・定期的な見直しは実施しています。	
	20	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせる支援を行っているか。	<input type="radio"/>	・個別支援のため、「地域交流の活動」の機会はないが、支援を通して社会性の向上に努めることで、各児の所属する地域での社会生活を送るための下支えをしていきたいと考えています。他の3つの基本活動については、各職種の支援の内容に盛り込むようにしています。	
	21	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	<input type="radio"/>	・支援の際に、お子さん自身が選択できる内容を盛り込んでいます。	
関係機関や保護者との連携	22	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	<input type="radio"/>	・出来るだけ参画しています。	
	23	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	<input type="radio"/>	・必要な時には、連携をとっています。	
	24	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	<input type="radio"/>	・対象児が多く、送迎もないためタイムリーに学校との直接の連絡は難しいですが、保護者同席で支援を実施していますので、保護者を介して情報を得るようにしています。	
	25	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	<input type="radio"/>	・法人内の児童発達支援事業所を利用している方が多いので、情報を引き継ぎながら行っています。	
	26	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	<input type="radio"/>	・児童発達支援管理責任者がサービス担当者会議に参加するなどして、できるだけ行っています。	
	27	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	<input type="radio"/>	・児童発達支援センターと連携を図っています。	
	28	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	<input type="radio"/>	・可能な限り参加しています。	
	29	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	<input type="radio"/>	・支援のたびに、保護者に丁寧に聴き取りや情報交換をしています。	
	30	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	<input type="radio"/>	・ペアレントトレーニングとしては行っていませんが、保護者支援の充実には今後も一層努力していきたいと考えています。	
	31	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	<input type="radio"/>	・契約の際に説明を行っています。 ・支援プログラムについては、近々公表予定のため、現在は説明できていません。	支援プログラムについては、公表後、契約時にも説明していきます。

保護者への説明等	32	放課後等デイサービス提供を作成する際には、子どもや保護者の意思の尊重、子どもの最善の利益の優先考慮の観点も踏まえて、子どもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	○	・契約時、利用時に、保護者の意向やお子さん自身の意思を確認するようにしています。	
	33	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	○		
	34	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	○	・契約時に丁寧に聞き取りを行い、利用の際に悩み等について、支援、相談を行っています。	
	35	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	○		
	36	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	○	・個別支援のため、活動概要や行事予定を知らせるような定期的な通信の発行はしていませんが、ホームページで各職種の支援内容等の案内は行っています。	
	37	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	○		
	38	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	○		
	39	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	○	・あけぼの学園としては、行事の案内をしたり、地域行事に参加する機会を設けていますが、当事業所としては、行っていません。	
	非常時等の対応	40	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	○	・職員は、避難訓練や防犯訓練等を実施しています。また、保護者には、契約の際に伝えてしています。
41		業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	○		
42		事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	○	・緊急の対応が必要となる可能性がある利用児には、契約時に緊急時の対応について聴き取りを行い、職員間で情報共有できるようにしています。	
43		食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	○	・食事の提供はありませんが、アレルギーについては聴き取りを行い、緊急時の対応を確認し職員で情報共有しています。	
44		安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	○	・安全管理に関わっての研修等を行っています。	
45		子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	○		
46		ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	○		
47		虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	○	・虐待防止委員会を設置し、研修会も行ってしています。	
48	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	○	・身体拘束等の適正化のための指針を作成し、周知に努めています。		